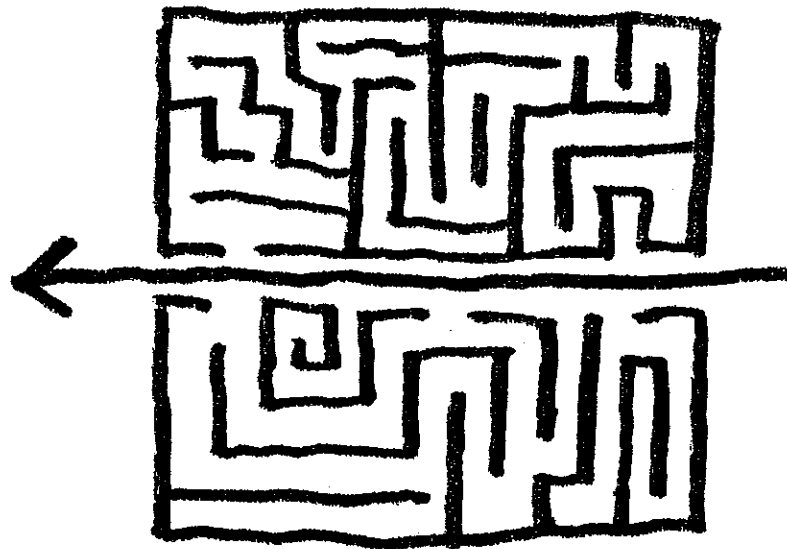


明日へ、育てたいものがあります。

 **日本財団**
The Nippon Foundation

(財)日本総船振興会の新しい呼び名です。



なんだ。
ボランティア。
ボランティア。
ボランティア。

18歳から30歳までの男女。専門技術、必要ナシ。情熱と体力さえあれば、応募可…。

(社)日本青年奉仕協会が主催する(ボランティア・385)は、充実した生き方を模索する若者を募集し、研修後、国内各地の自治体などに1年間派遣します。79年の第1回派遣以来、約800名が老人ホームや知的障害者施設のスタッフとして活躍してきました。彼らの体験談集には、参加の動機、活動の様子、心の葛藤、その後の心の変化などがみずみずしく綴られています。「自分自身を再発見した」、「自分が必要とされている人間なんだと実感できた」…。

それはまさに自立すべき時を迎えて、ただ立ちすくむだけだった現代の若者が、厳しい現実

に直面し苦闘しながらも一步一步大人へと脱皮していく成長記を見るようです。

飛び込む気持ちさえあれば、ボランティアはいますぐできる。そしてそこに、かけがえのない充実感があることを彼らは教えてくれています。

日本財団は、(ボランティア・385)「アイランドプロジェクト」を支援しています。このプロジェクトは、離島の自治体や施設で1年間奉仕活動することにより、学校では得られない人や社会とのかかわり方を学び、自分自身の生き方や社会を見つめる目を養ってもらうことを狙いとしています。

詳しいお問い合わせは、(社)日本青年奉仕協会 TEL.03-3480-0211まで



礼文島で、植生調査や特別天然記念物の監視を行っているボランティア。